

交通 「公園」と同じ手まね。

功名 腕前 —— 名を挙げる（「揭示」と同じ手まね）

高等 (イ) 高等学校。白線の帽子—学校。

白線の帽子は、白（人差指の指頭で歯をさす）を表わして、人差指と中指の二指で額の上を横に線を描く。(ロ) 高等（下等に対する）「高尚」と同じ手まね。(ハ) 高等（智的な）考え—高い（掌を下向けた手を肩の辺りから高く上にあげる。）

鉱物 石—いろいろ（物）

高慢 五指の指頭を集めたのを、鼻頭につけてから、前へ引き出すようにする。即ち天狗。

効用 「適する」と同じ手まね。

誤解 思い—間違い。

互角 掌を内側に人差指と親指の指頭を下方にさした左右の手を下に重らし、両腕を×

形に交叉さして、同時に両手の人差指と親指の指頭を合わせる（「同じ」の手まねの要領）

小刀 (イ) 折り曲げて鞘におさまった小刀を鞘から伸ばして出す両手の身振り。(ロ) 左の人差指（鉛筆など）を右の人差指（小刀）でけずる身振り。

故郷 生れる—処（或は国）

国際 国—国—関係。（胸の前後寄りに「国」の手まね、更に左よりに「国」を表わす）

告白 (イ) 正直—云う。(ロ) 五指の指頭を上になし掌を上向けた右手を口許から前にさし出す。口から吐き出すこと。

午後 「正午」の場合の二指を右へ傾ける。或は二指を前方に落す。

極楽 仏—国

心 人左指で腹部をさす。

心得 憶え—しっかり。

試みる 握り拳にして手甲を上に向けた両手を手首のところでX形に交叉して、同時に両手の手甲を下向けにねじる。その時小首を少し傾しげる顔の表情。

快よい 五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手をびったり胸につけ、上下にさすり上げ降しする。胸がせいせいした表情。「嬉れしい」「面白い」と同じ。

午前 「正午」の場合の二指を左へ傾ける
乞食 右手で鈴を振り鳴らす真似をして、左手掌を上向け、物を乞う身振り。

故障 (4) 機械の故障。「機械」を表わす手をとめて、小首を傾しげて——「悪い」の手まね。(4) その他の故障。(1) 忙しい——むつかしい。(2) 用事—ある—むつかしい。

答え—右手の指頭を上斜め左にさした人差指と指頭を左にさした親指。左手の指頭を上

斜め右にさした人差指と指頭を右にさした親指。この両手の互いの人差指の指頭と、互いの親指の指頭をつけ合わして、△形をつくる。これは算数での問題の「+」「-」で示したことから来たと思えばよい。

答える 答え——云う。

御馳走 うまい(美味)——いろいろ。

誇張 両手で螺旋を持つ手つきをして(螺旋の螺旋の輪郭を表わす心持ちに両手を動かす)口で吹く身振り。

滑稽 おかしい——おかしくて、腹が痛い(拳で脇腹を叩く)

孤独 独り——淋しい。

如く 掌を左側にして指頭を前方にさした人差指と中指を上下に振る。

殊に 五指の指頭を集め合せた右手のその指頭で、左手の腕、下膊部に手首の辺りから上へ△形を描き降す。「特に」「特別」の手